



【二次評価】

- ・担当課が入力した評価シート（参考資料2）をもとに、内部評価が妥当であるかどうかを評価
- ・2グループに分け、各委員において実施（参考資料3）
- ・各委員の評価を事務局でまとめ、委員会でグループ討議、その後全体で共有
- ・評価結果は次年度の内部評価に反映

【ヒアリング】

- ・あらかじめ選定した実施計画の担当課に来てもらい、状況の聞き取りを行う
- ・聞き取りを行う計画は事前に委員会で決定する（4～5計画／年）
- ・計画の内容や進捗状況について評価
- ・評価結果はヒアリングの翌年度（可能なものは当該年度）から取り組みに反映



二次評価とヒアリングの位置付け

	二次評価	ヒアリング
目的	行政内部で行った自己評価が妥当であるかどうか、外部の目線によって評価いただくことで客観性を担保する	外部の目線から計画に対して意見をいただくことで、より効果的・効率的に計画を進め、市民サービスの向上、業務の効率化を図る
評価対象	担当課による内部評価	計画の内容や進捗状況等
対象数	すべての実施計画（73計画）	委員会で事前に選定した計画（4～5計画/年）
方法	担当課が入力した評価シートをもとに各計画の内部評価が妥当かそうでないかを判定	選定した計画について担当課と直接意見交換を行い、計画をより効果的・効率的に進めていくための提言をする
評価結果	次年度の内部評価に反映	評価の翌年度（可能なものは当該年度）から取り組みに反映
評価のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進捗状況と内部評価がかけ離れていないか</li> <li>・担当課に都合の良い評価となっていないか</li> </ul> <p style="text-align: center;">等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画を効果的、効率的に進めるにあたって、改善点や加えるべき視点、考え方はないか</li> <li>・民間の立場から方法や進め方についてアイデアや助言等はないか</li> <li>・進め方についてスピード感はあるか</li> <li>・指標の設定は適切か</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p>